

マンガ

文化財入門



発掘調査の秘密編

はじめに

日本列島のほぼ中央に位置する京都府は、南北に長く、47都道府県中では31番目の広さです。その範囲内に、全国では6番目となる約1万8千箇所もの遺跡が所在していることは、あまり知られていないかも知れません。

府内の遺跡の中には、京丹後市銚子山古墳、綾部市私市円山古墳や、向日市長岡宮跡、木津川市恭仁宮跡のように保護され、皆さんの暮らしの近くで歴史に触れる場所として活用されているものがあります。しかし、このように現地で保存・活用されている遺跡はごくわずかです。

文化財保護法では遺跡の範囲内で工事を行う場合には事前に届出等を行うことを求めています。法に基づき、工事の際は事前に発掘調査などが行われます。非常に重要な遺跡が発見された場合は史跡等に指定され保護されることもあります。大部分の遺跡は調査終了後に工事により失われてしまいます。そのため、現代まで地中に保存されてきた遺跡の多くは事前の発掘調査を行い、調査成果が実物に代わる「記録」として保存されることとなります。

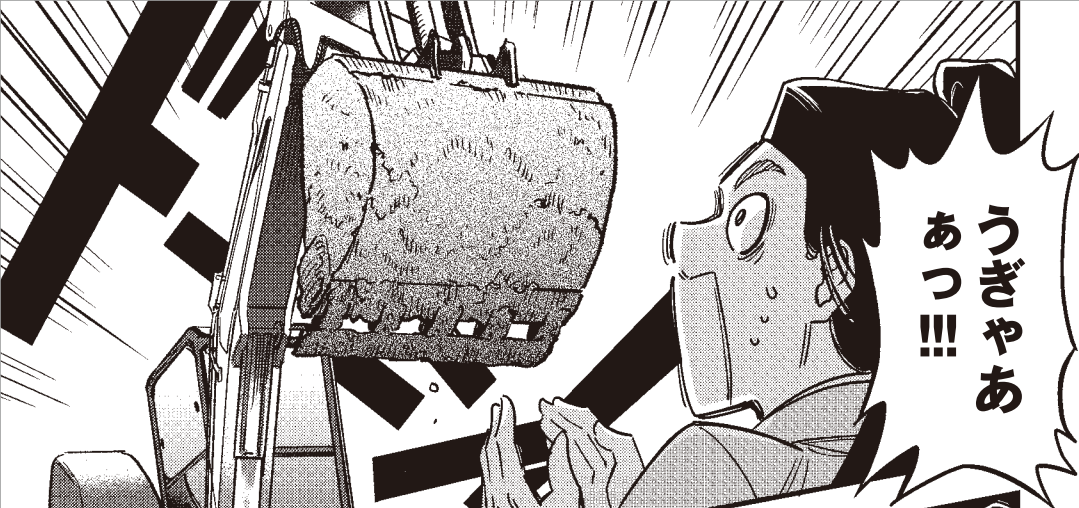
この冊子は、そうした発掘調査の仕組みや文化財保護の考え方を、わかりやすくマンガとしてまとめたものです。皆さんがこの冊子を手にとってくださり、京都の歴史や遺跡の保護について知る機会となりましたら幸いです。

今回のマンガ文化財入門は、恭仁宮編で登場した秋乃さくらを主人公として作成しました。作画を担当いただいた漫画家のえのきろうちゃんをはじめ、関係者の皆様のご協力に厚く御礼申し上げます。

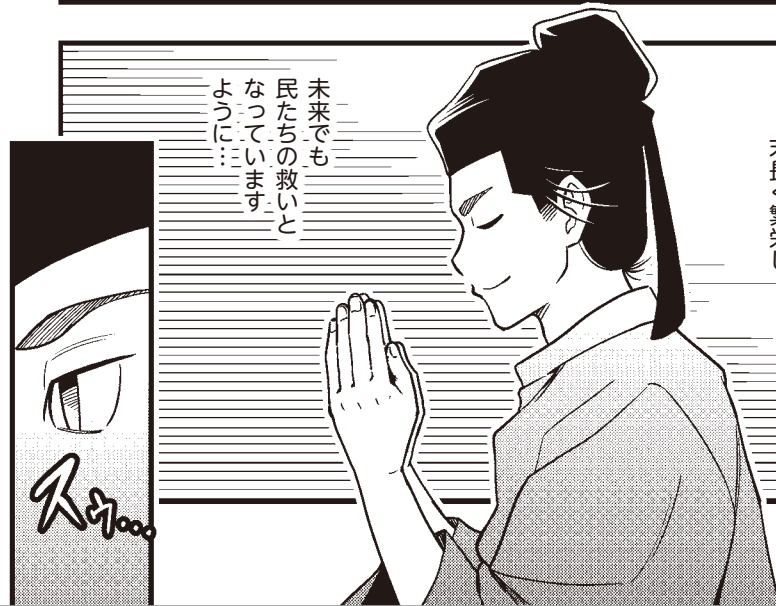
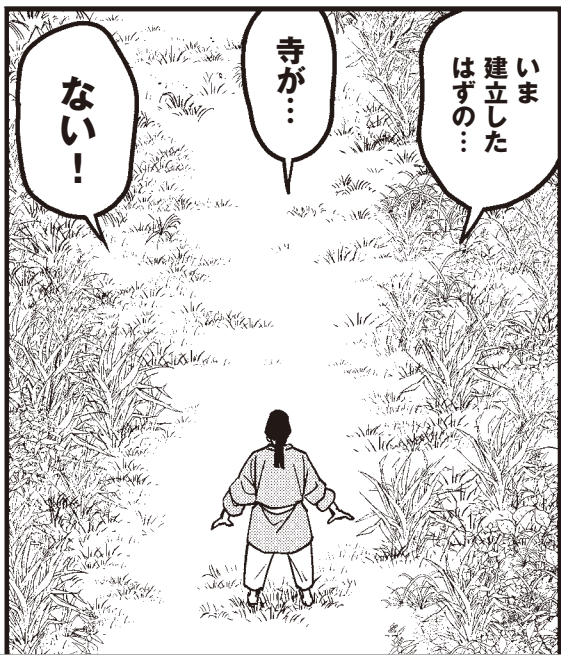
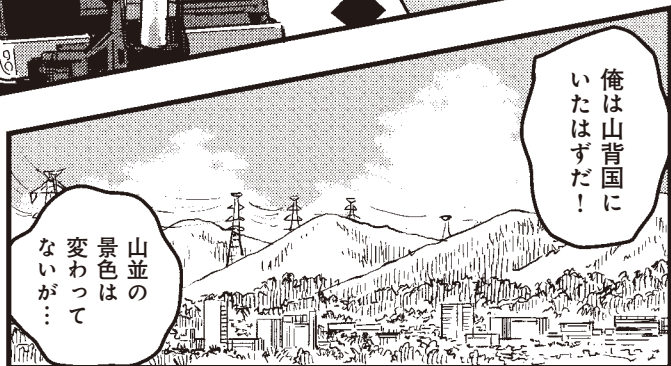
令和7年3月

京都府教育委員会 教育長 前川 明範





うぎやあ
あっ!!!

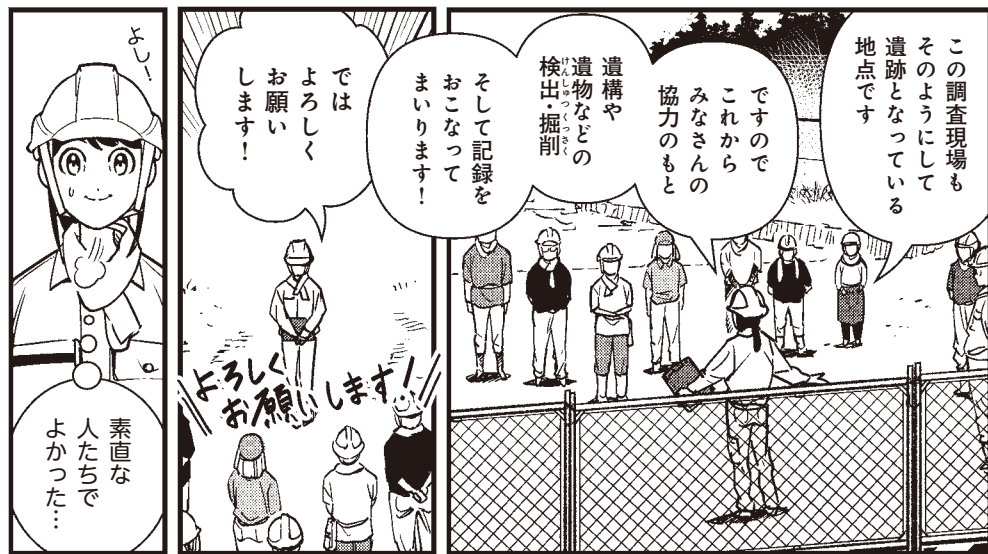


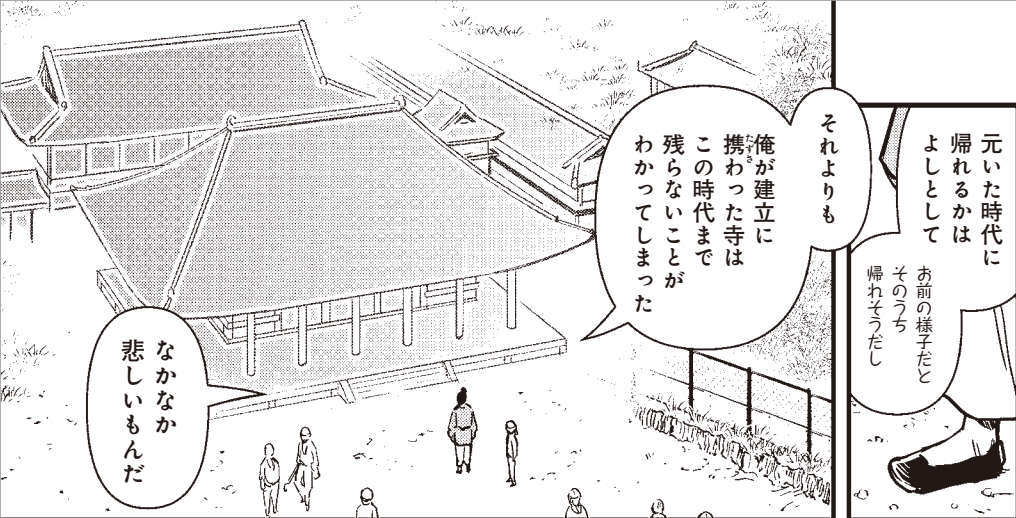
元は山背国
恭仁宮造営のために
作られた
瓦ですものね
聖武天皇が
平城京から遷都し
3年3ヶ月の間だけ
国の中心であった
幻の都...

※1「山背国」……のちの山城国 現在の京都府南部
※2「山背国分寺」…国分寺741年の「国分寺建立の詔」により
全国に造られた七重塔をもつ寺

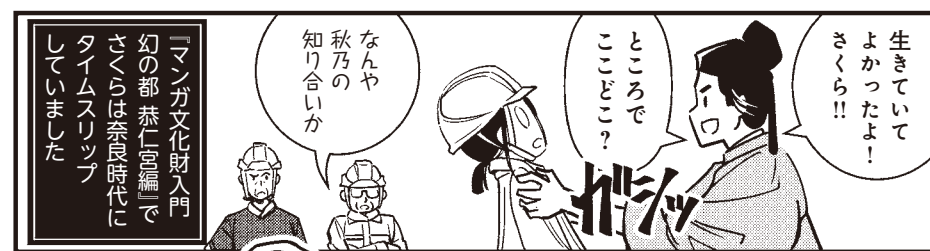
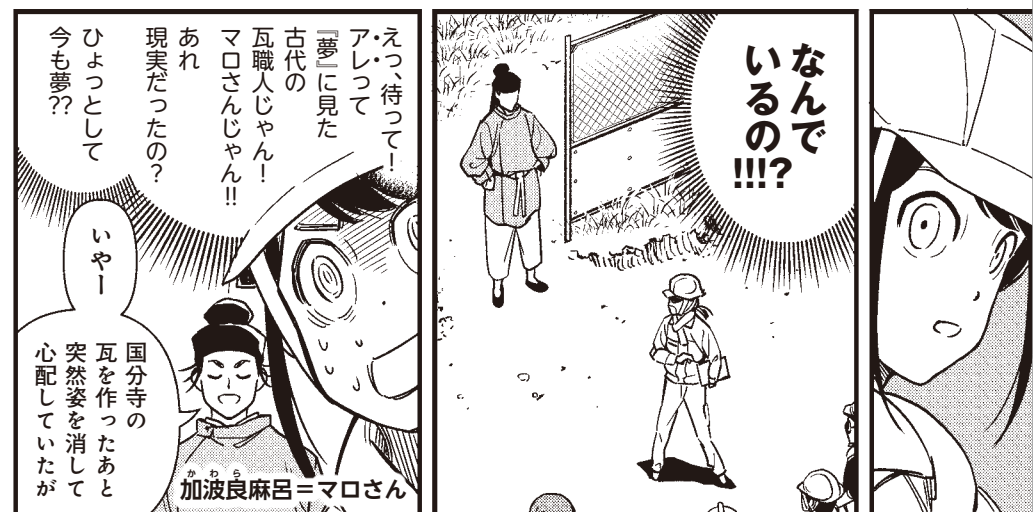
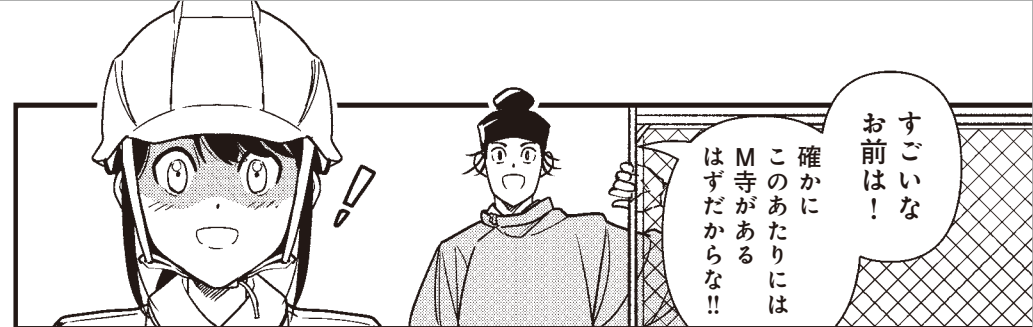


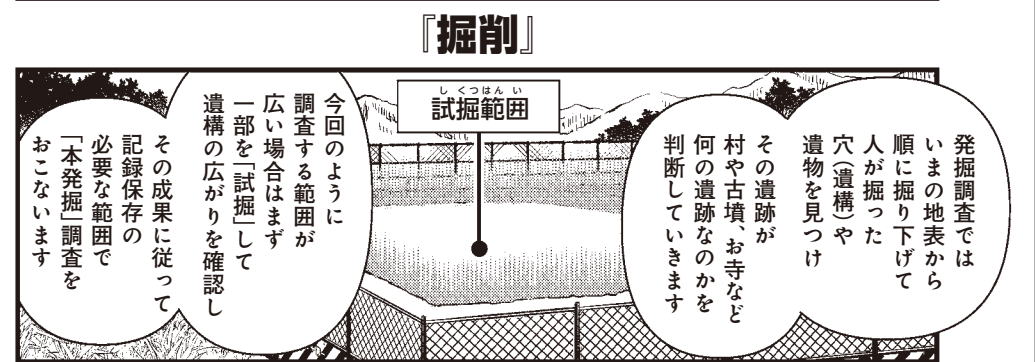
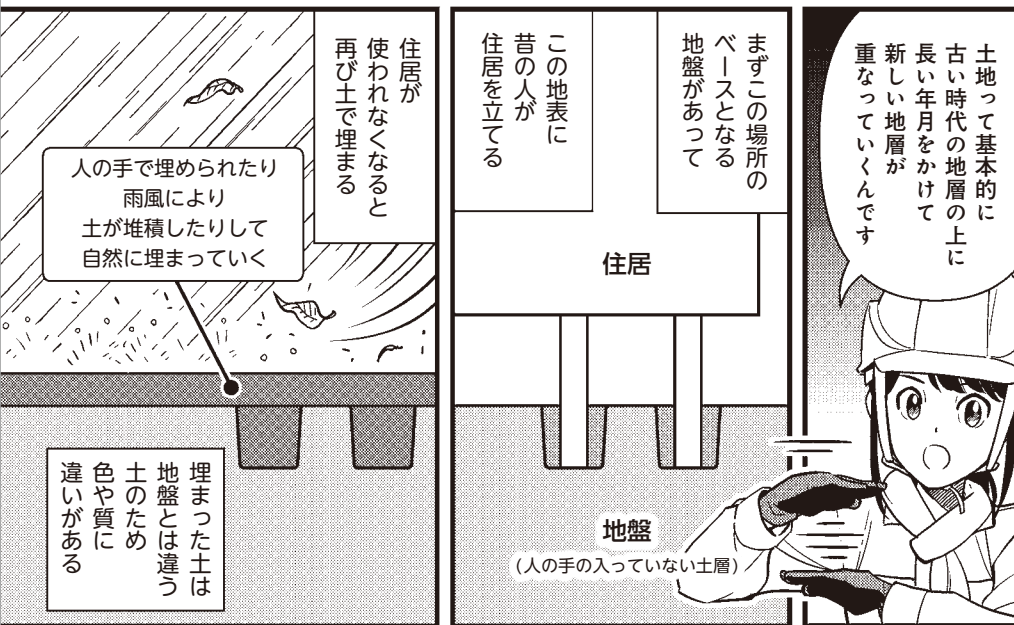
※【遺跡地図】……遺跡の存在する範囲を示した地図。京都府ではインターネットで公開中。





※【埋蔵文化財専門職員】……大学で考古学を専攻し、遺跡などの地面に埋もれた文化財に関わる仕事をする人。





遺構検出には「ガリ」を使います
ていねいに
おこなって
くださいね！

おう！

あ！
あ！そのアゼは
「土層観察ベルト」
と言って

地層の
堆積状況などを
確認するために
あえて帯状に
残してあるんで
削らないで
くださいね！

ベルト

確かに境目が
よくわかる！

…待てよ
ということは
俺の時代から今の間の地層は
調査しなかったのか？

近現代の層
近世の層
古代の層

残念ですけど
発掘調査って
現実との兼ね合いで
意外と限定的に
なるんですよ…

切実だな…

検出した
遺構を
図面と写真で
記録したあとは
「遺構の掘削」を
おこないます

土器や石器、
木製品などの
遺物が見つかる
ことがあるので
慎重に
お願いします！

ガリ
ガリ
ガリ…

出た！

気を
取り直して！

これは…
俺たちが
作った瓦だ

ん？

なんだ
これ…？

土器や
瓦などの遺物が
見つかった場合
大きな破片ならば
そのまま残し
小さな破片は
出土位置を
記録して
取り上げます

土器の
かけら
にしては
軽いな

マロさん
どうですか？
やっぱり
同じ場所？

うーん…

見つかった瓦や
あらわになった
柱の位置が
だいたい
俺の記憶にある
寺と一緒にで…

じゃあ
やっぱり…

でも

ということば

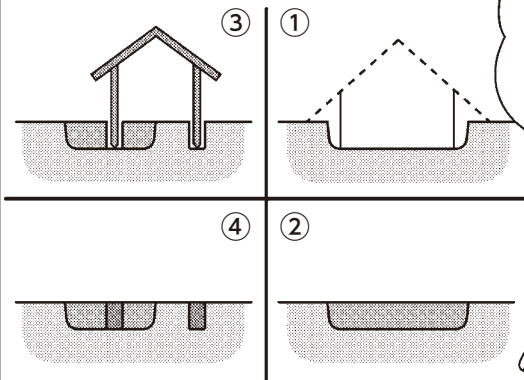
確か寺が建つ
ずっと前には
ここにムラが
あったはずなんだ
もっと調べれば
別の遺構が
出てくるかも

えっ！
村…？

聞いた以上は
調べて
みないと…

ちょっと
先輩に相談
してくる！

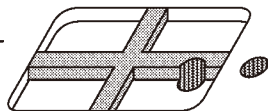
埋まっていく順序



やっぱりあの
ベルトが
役立っんだ！

平面やベルトから
土の違いで
判別はつきますね

平面とベルトの図



ところで
どちらの住居が
先に建てられたか
普段はどうやって
判別してるんだ？

あの…
マロさん

正直
1300年前の
当事者の証言では
科学的な証拠に
ならないですが…

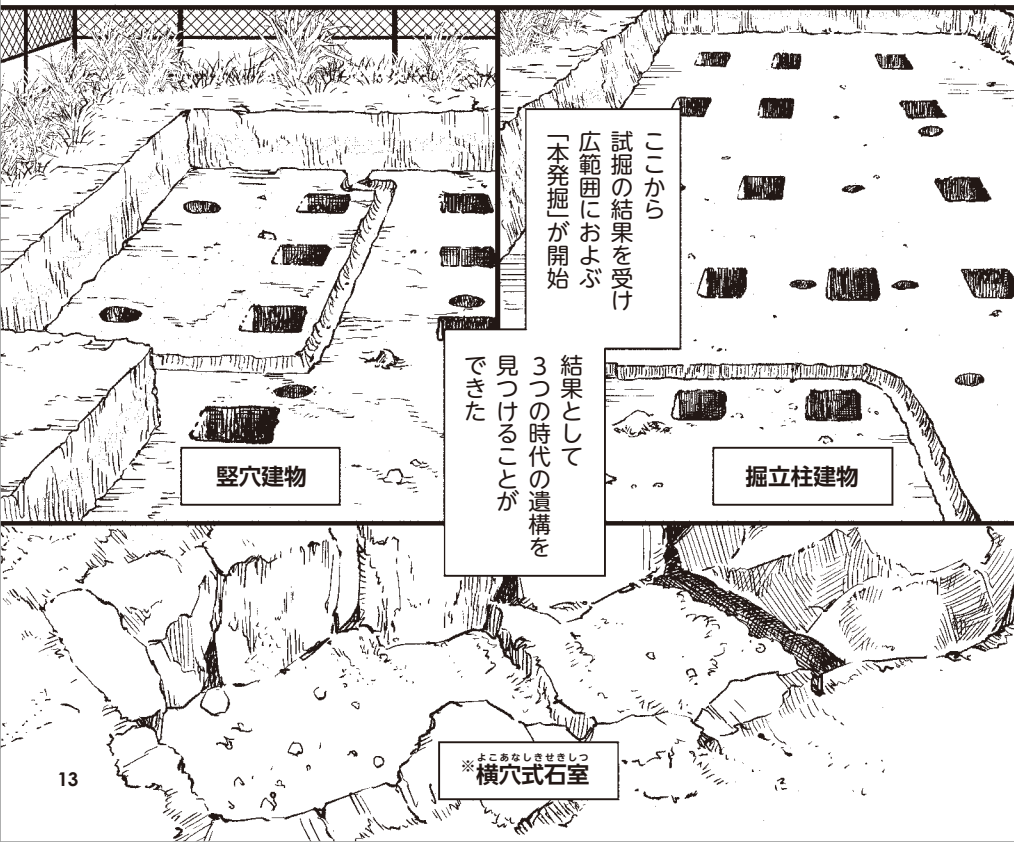
他にもこの辺の
建物の記憶って
ありますか？

…ある

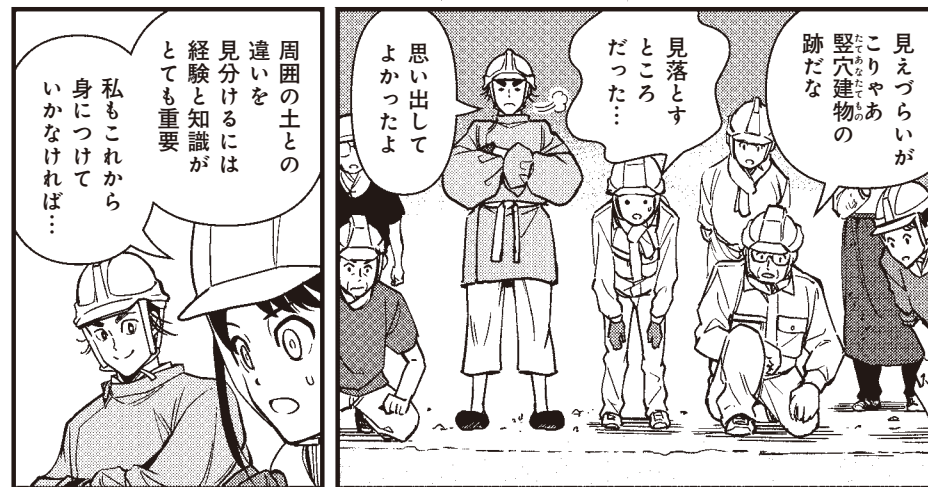
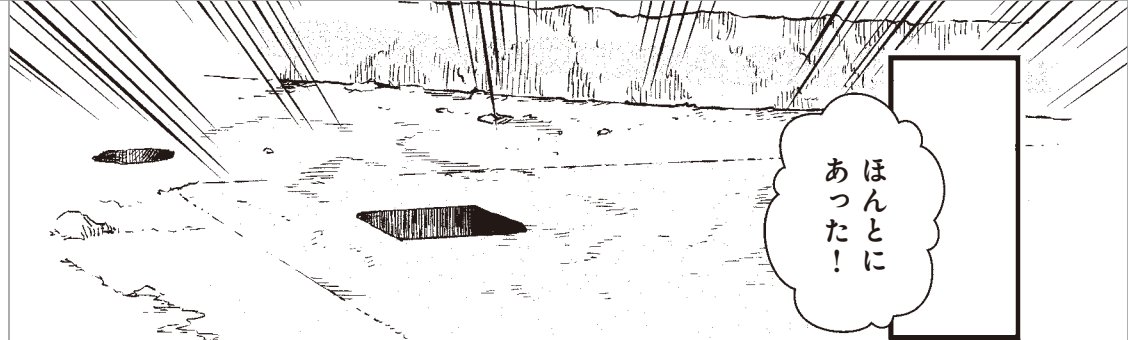
古い墓！

えっ
古墳？

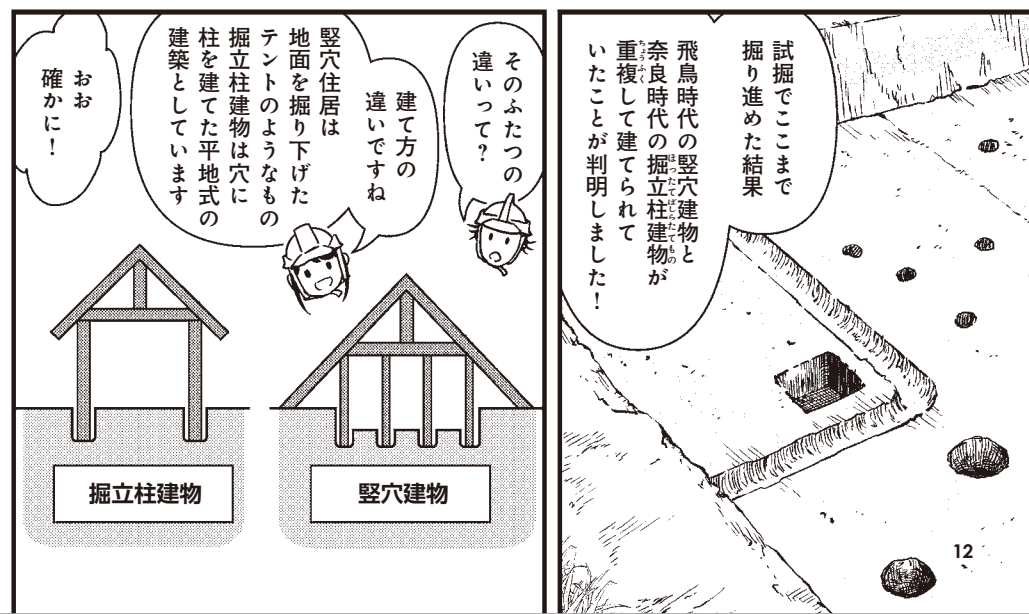
ヤバ
先輩に相談
しないと！！

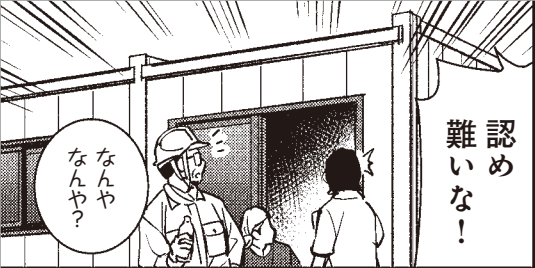


※「横穴式石室」……古墳の中にある石を組んでつくられた遺体を埋葬する部屋。

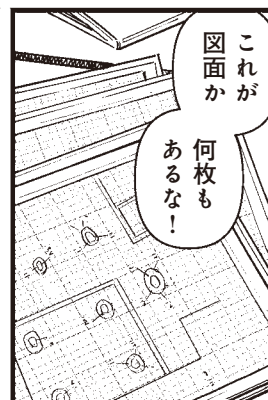
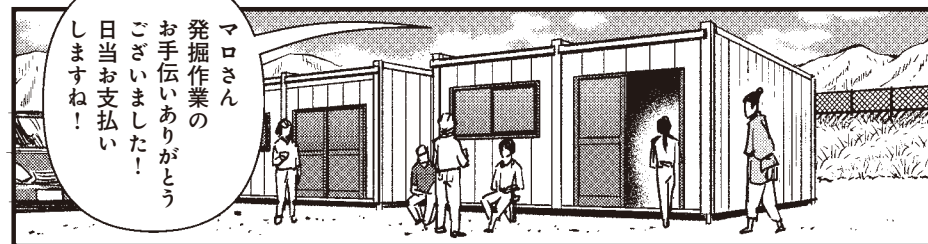


1ヶ月後





『記録』



このあたりは
ずっと田畑でしたが
今回掘削した土にも
1300年以上の歴史の
積み重ねがあります

奈良時代の遺跡を
現代人が知るために
近世や近代の地面を
掘り下げたわけです

過去と現在の
営みがある以上
未来の営みも
積み重なって
いくのは必然

その前に
調査をすることで
過去の人々が生きた
証を正確に評価して
未来につなげていく

それが
私が好きで
やっている
仕事なんです！

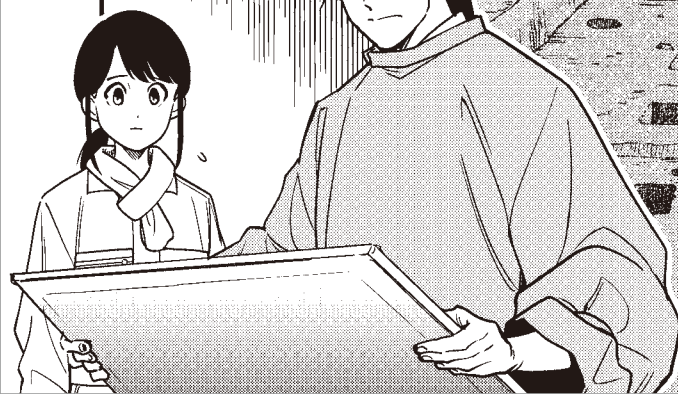


……今回の
発掘調査の結果

俺の時代も
自分たちの営みのために
ムラの跡を壊して
寺を建てていたんだよな

なら
いつの世も
同じ……

いや
俺たちのことを
わざわざ見つけて
未来につなげて
くれている
さくらたちは
俺たちよりも
俺たちの生きた時代に
真剣に向き合ってくれて
いるのかな



現場での記録作業が
だいたいすんだ頃
メディアを通じて
成果を報道し

地域への
成果還元として
現地説明会を
実施しました

こんな遺跡が
田畑の下に
眠ってたんだか

知らん間に
土器とか
掘ってたん
ぢやないですか？



病院の建設
予定地なので
調査の終了後は
最終的に埋め戻す
予定です

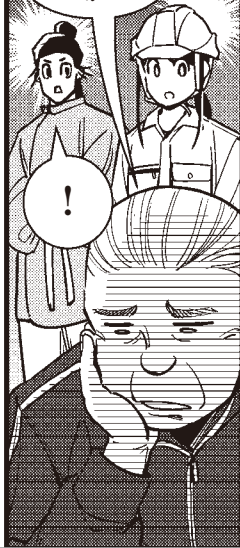
古墳まで
見つかったのに

関係者の目に
留めておくだけは
もったいないですね

この地域じゃ珍しい
大型の石室やし
残したいなあ



この遺跡……
工事の原因者の
病院側や府と
話し合ってたんだとか
保護できひん
もんかね？



要望を受け
地元自治体と
会議を開き
保存方法を検討する
ことになりました

建物の配置変えたり
遺構が残る設計に
変えたりできひん？

それでも
全部の保存は
ムリや

石室のレプリカや
模型を作って
地域センターに
設置するとか？

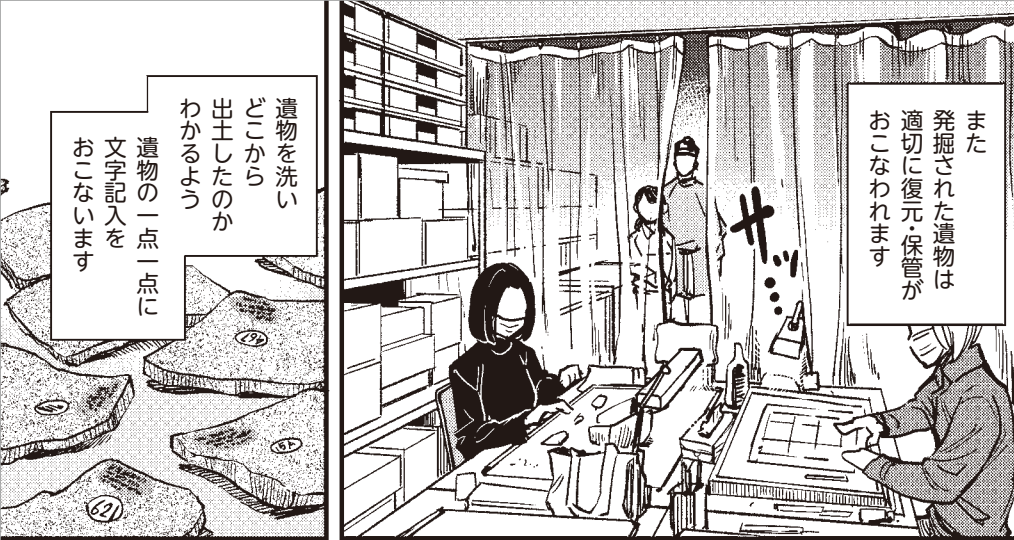
それでも
予算やスペースの
確保があるやろう



よろしい
ですか？

あの……

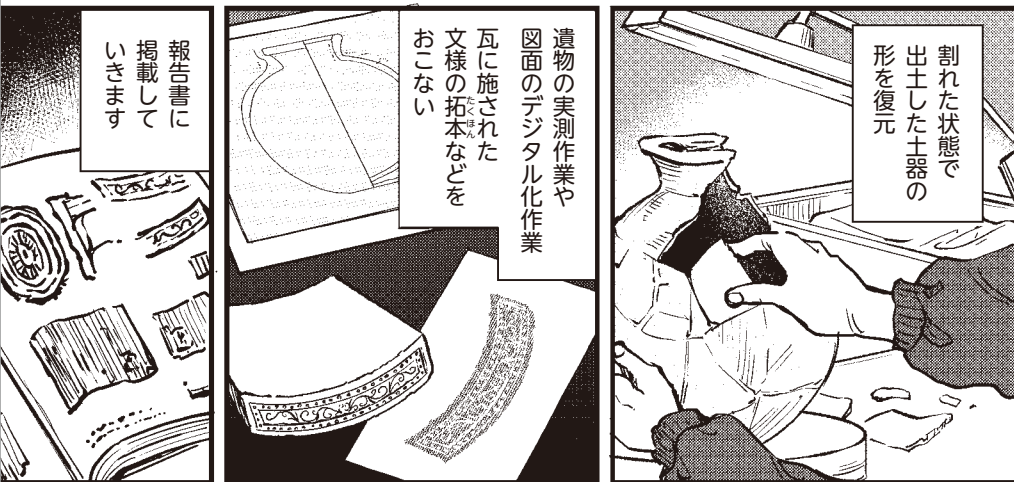




また
発掘された遺物は
適切に復元・保管が
おこなわれます

遺物を洗い
どこから
出土したのか
わかるよう

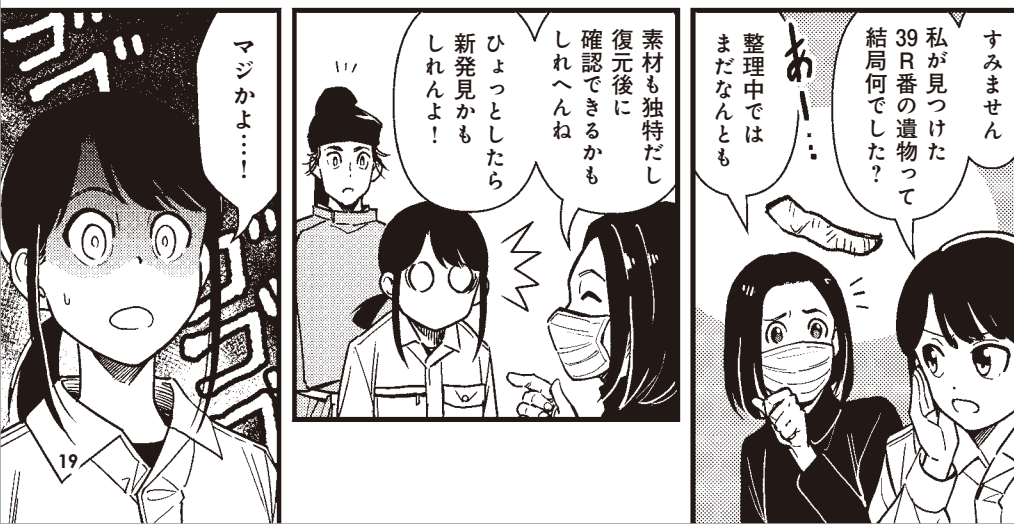
遺物の一点一点に
文字記入を
おこないます



割れた状態で
出土した土器の
形を復元

遺物の実測作業や
図面のデジタル化作業
瓦に施された
文様の拓本などを
おこない

報告書に
掲載して
いきます



すみません
私が見つけた
39R番の遺物って
結局何でした？

あー！
整理中では
まだなんとも

素材も独特だし
復元後に
確認できるかも
しれへんね
ひよっとしたら
新発見かも
しれんよ！

マジかよ……！



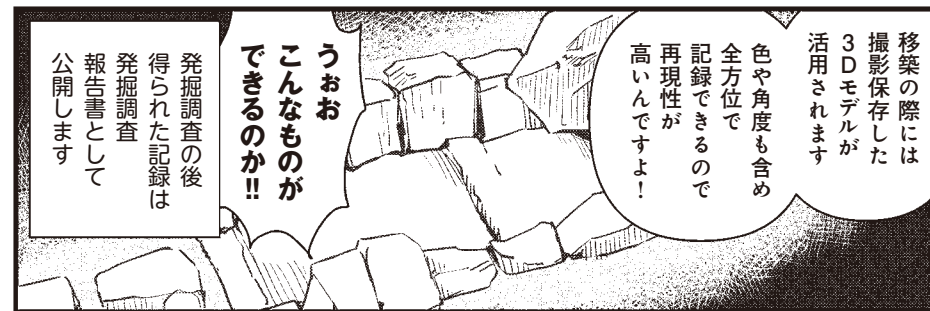
遺跡を現地保存
できないので
あればですが…
私としては
地域住民の
営みの中に
置ければと
考えます

お子さんと
遺跡を
知らない人が
身近に接する
ことができる
保存方法

そういった検討は
難しいでしょうか？

会議を重ねた結果
石室は移築して
保存することになりました

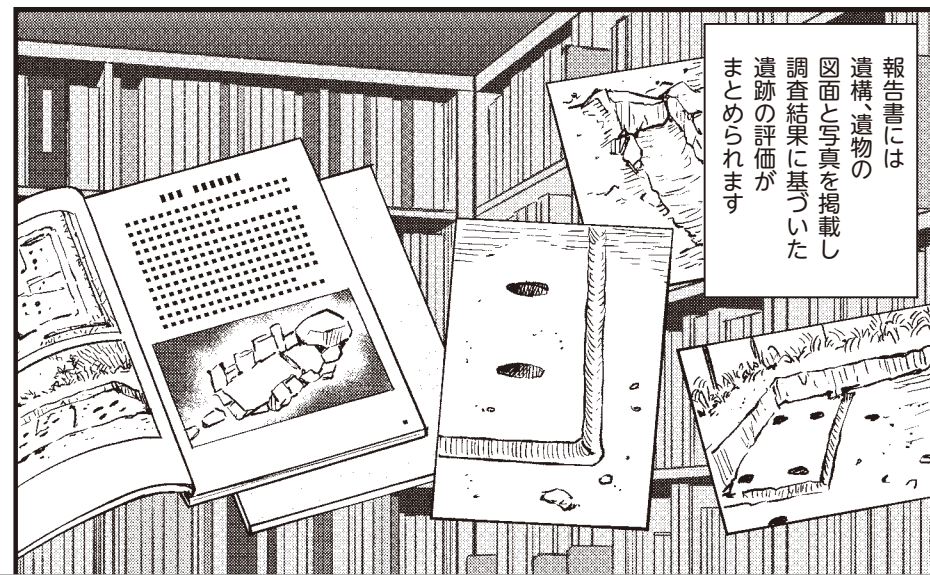
『保存・活用』



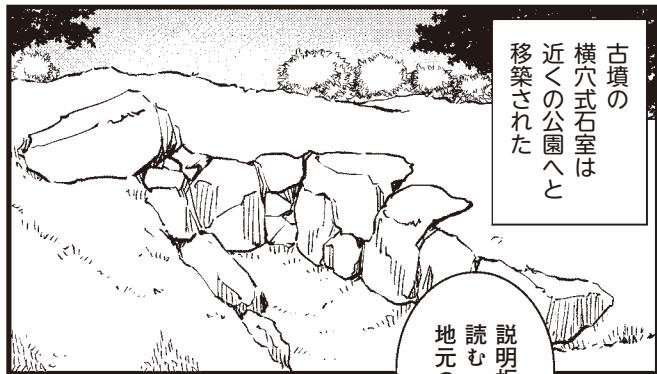
移築の際には
撮影保存した
3Dモデルが
活用されます
色や角度も含め
全方位で
記録できるので
再現性が
高いんですよ！

うおお
こんなものが
できるのか！！

発掘調査の後
得られた記録は
発掘調査
報告書として
公開します



報告書には
遺構、遺物の
図面と写真を掲載し
調査結果に基づいた
遺跡の評価が
まとめられます

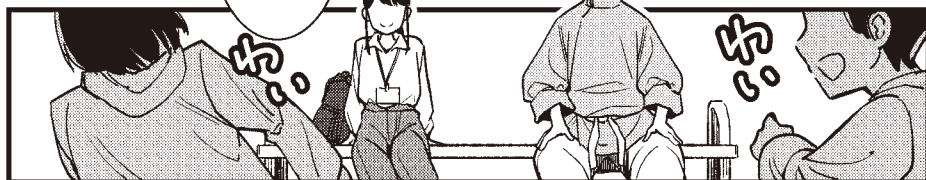


古墳の
横穴式石室は
近くの公園へと
移築された

説明板を
読む
地元の人



遺跡の周りで
遊ぶ子ども



発掘調査を終えた
竪穴建物と
M寺跡の上には
病院が建ち



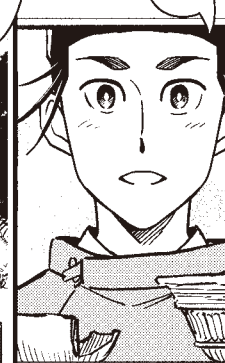
5年後



俺たちの
生きた証は
ちゃんと未来に
伝わっているのか

さくらたちの
おかげで

そうか



調査によって
得られた成果は
保存するだけでは
終わりませんよ

倉庫に
収まる
だけでは
ないんだな



例えば
遺跡の案内や
パンフレットを
作成したり

博物館などでの
出土品の展示や
遺跡や歴史を解説する
シンポジウムを開いて
歴史の中の
人々の営みを
地域の皆さんに
共有して、さらに
街づくりにも役立てて
もらっています

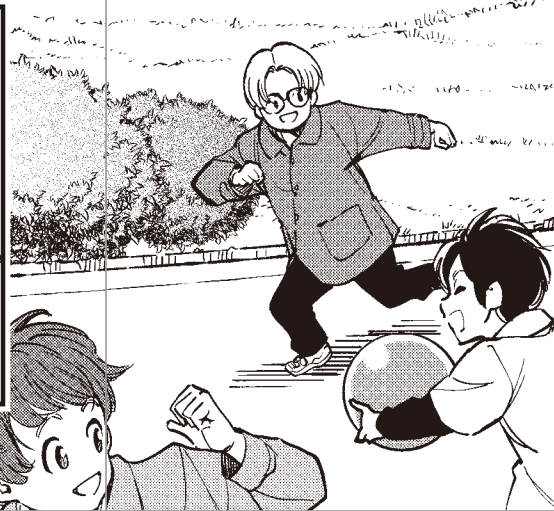


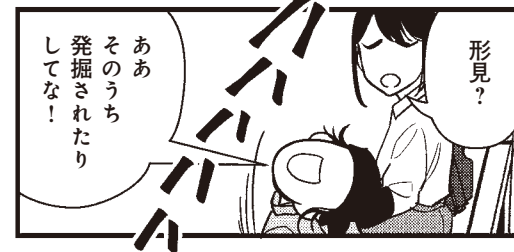
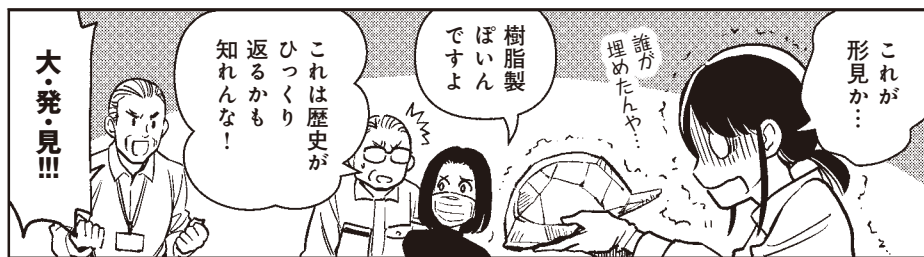
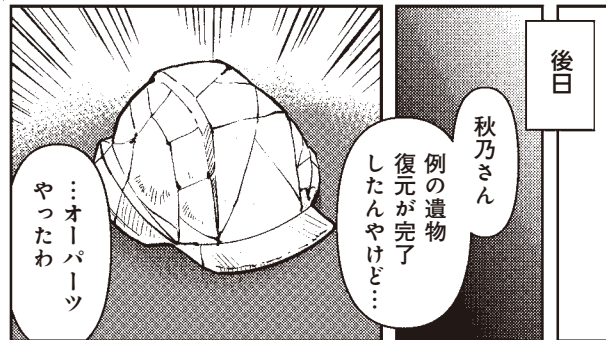
…山背国分寺



改めて
言われると
照れますね…

発掘調査のおかげで
この時代の人たちに
俺たちの生きた証を
見つけてもらえた
さくらが
遺跡の仕事を
好きでやっている
理由がわかったよ





府内の整備された主な遺跡

京都府内では、多くの遺跡が発掘調査されています。そのなかの一部の遺跡は保存が図られ、今も現地で見学することができます。

1 与謝野町

つくりやま
作山古墳群
えびすやま
蛭子山古墳群



古墳時代前期の前方後円墳である蛭子山1号墳や作山古墳群からなる古墳公園があります。作山古墳群は墓石や埴輪が復元され、造られた当初の姿として整備されています。また、はにわ資料館が併設されており、古墳からの出土品などを見学できます。

2 綾部市

きさいちまるやま
私市円山古墳



古墳時代中期に造られた京都府内最大級の円墳です。2セットの甲冑が出土しており、当時の中心勢力とのつながりがあった人が葬られたと考えられます。墳丘の墓石、埴輪列を復元整備しており、築造当初の姿を想像することができます。

3

京丹波町
しおたに
塩谷古墳群



古墳時代中期から後期の12基の円墳からなる古墳群です。墳丘は京都縦貫道「京丹波PA味夢の里」のそばに現地保存されています。PA内では出土した巫女形埴輪のレプリカも展示されています。

6

宇治市
うじがわ
太閤堤跡



豊臣秀吉が1594年(文禄3年)の伏見城を築城する際に造った宇治川の護岸施設です。発掘調査により見つかった石積みの護岸を地下に保存し、護岸施設を地上に復元しています。現在、遺跡は歴史公園として整備されています。

7

木津川市
こまであら
高麗寺跡



府内最古級に位置づけられる古代寺院です。7世紀後半に塔を東、金堂を西に配置する寺院として建立されました。発掘調査から判明した、建物の柱を支えた礎石や基壇を復元整備しています。

5

向日市
もずめくるまづか
向日物集女車塚古墳



古墳時代後期の前方後円墳です。横穴式石室をもち、中には石棺が納められています。石室の内部は毎年期間限定で公開しています。スマホアプリ「墳タビ!物集女車塚古墳」を使うと、ARやVRにより造られた当時の古墳の姿、埋葬の様子を体験することができます。

8

木津川市
しょうにんがひら
上人ヶ平遺跡



奈良時代の都・平城京の中心である、平城宮の建物に使う瓦を作った瓦生産工場の跡です。工房跡や瓦を焼いた窯跡が見つっています。住宅街の公園として整備され、市民に親しまれています。

4

京都市
おんどがいけ
御堂ヶ池1号墳



古墳時代後期の京都市内最大規模の円墳で、横穴式石室をもちます。開発に伴い発掘調査が行われ、移築することで石室は保存されました。現在、石室の見学が可能です。見学にあたっては京都市文化財保護課への問い合わせが必要です。

▼アプリ画面





マンガ 文化財入門 発掘調査の秘密編

2025 年 3 月 第 1 版 第 1 刷発行

- 発行：京都府教育委員会 〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入敷ノ内町／TEL：075-414-4450
- 作画：えのきろうちょう
- 監修：京都府教育委員会文化財保護課
- 編集：京都精華大学(京都国際マンガミュージアム)事業推進室

※本冊子は京都府と京都精華大学との包括協定をもとに制作しました。

※本冊子のコピー・スキャン・デジタル化などの無断複製・転載は著作権法上での例外を除き禁じられています。

© 2025 京都府